

# 教務だより

2010年9月号  
茗溪塾

茗溪塾教務部 03-3659-8638

## 受験を丸ごと楽しもう！

茗溪塾塾長 宇野雅春

夏が終わって、学校も始まり、いよいよ受験の季節も本格的になってきました。やらなければならないことがたくさんあって、なかなかペースができないと苛々したり、悩んだりの人も出てきます。大方の人が抱く受験のイメージは「灰色」かもしれません。私などの団塊の世代は、戦後最大のベビーブームでしたから、一クラス55人学級の一学年十クラス位が普通だったと思います。塾はありませんでしたが、この時初めて「受験戦争」とか「灰色の青春」という言葉が世間では云々されました。

でも、受験勉強は本当に灰色なのでしょうか？ 確かにどの受験も、その生徒の将来に大きく影響するだけに、必死になるのもわかるし、うまくいっていないと親も含めてトラブルになったりするのもわかります。「いよいよ受験！」と心引き締めながらも、憂鬱な気分も全くない訳ではありません。受験を考えて不安になった時は是非、「合格体験記」を開いてみることをお勧めします。成功した受験であるほど「明るい」事に気がつくはずです。そもそも、受験勉強を学校に入るための「手段」とだけ考えるのは間違いのように思えます。「なに？」と思う人もいるかもしれませんが、「高い月謝を払っているのに…」と考える傾向も、勉強を単なる合格の手段と考えるところから出てくるものだと思います。つまり、いやいや塾に来て、無理やり勉強させられて「合格」をゲットする。これは辛いことです。「もっとやりたいことがあるのに…」という思いがいつもどこかにあるのでしょうか。勉強は脳を鍛えるものです。勉強することで頭が良くなるのです。頭が良くなることで、心が成長します。豊かに生きていくために必要なことが「勉強」です。「何の役に立つのか？」ではなくそもそも人間として生きていく上で、必要かつ最も重要なことだと思います。どのレベルからスタートするにしても、「勉強すること」は尊いことであり、受験勉強では否が応でも、そこに追いやられるだけに、抵抗や摩擦が起きるといふ事なのでしょう。ただ、ポジティブに受け入れていくと思わぬ充実感に出会うはずなのです。成功した受験ほど苦しみより、より多くの喜びにあふれているからです。

「生活習慣形成能力」を前面に掲げての夏のスケジュールでしたが、楽しく勉強していくための一歩が朝型学習です。私も教えたY君の合格体験記にはこんなことが書いてありました。「夏休みが終わると、夏休み前までと同じ通常授業が再開した。ただ、大きく夏休み前までと変わったことがあった。僕はほとんど毎日塾に通うようになっていたのだ。自習の金曜日も、もちろん日曜学習ルームにも行っていた。ほとんど毎日通っていたが、それを苦しく思う事は一度もなかった。塾へ通う事は僕の生活の一部になっていたのだ。」自分がわからなかったことや解けなかった問題が理解できたり、解決したりが出てくることで、大変だ！と思っていたことが喜びに変わってくる…。この文を読むと私達が見ていたY君の努力も、楽しく充実していたものであることがわかります。そこには受験に向けた生活習慣というものが確立していて、学習のリズムができています。合格体験記を読むとYくんは夏休みにそれを確立したようです。

そして「生活習慣形成能力」の次に来るのが「楽しさを共有できる力」です。学ぶ喜び、仲間と一緒に頑張る楽しさ、先生との交流も大切です。すべては将来を決定するコミュニケーション能力へと繋がっていきます。受験勉強を楽しめる力は、将来の仕事を楽しめる力へとつながるものです。ゲームや遊び、旅行や趣味だけが、人生の楽しさと考えるのでは、多分一生「灰色」が続くこととなります。ため息をつきながらいやいややることは「仕事」であれ、勉強であれ、「成功」や喜びをもたらさないと思えます。

辛かったことも、苦しかったことも、あとで考えると良い思い出になるようなそんな受験勉強であってほしいと思っています。

「一緒に受験を思いっきり楽しもう！」これが合言葉です。